

情報伝達媒体毎の特徴

情報伝達媒体	長所	短所	補足	避難情報等の種別
TV(Lアラート含)	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難勧告等の速報性の高い情報が文字情報により迅速に発信</li> <li>避難勧告等の情報が繰り返し呼びかけられ、避難行動に結びつけやすい</li> <li>防災情報の入手先、上位</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>停電に弱い</li> <li>被害が発生した地域の情報が放送される場合が多く、これから避難が必要な地域の居住者等へ適切に伝わらない場合もある</li> <li>特定の市町村や地域を対象とした詳細な情報伝達を繰り返し行えない</li> <li>放送時期、内容を自治体がコントロールできない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国、府下全域などの広いエリアへの情報提供に優れているが、特定エリアの情報はデータ放送に頼らざるを得ない。</li> <li>データ放送の活用により詳細な情報伝達が可能</li> <li>ただし、データ放送の操作に不慣れなど閲覧できない人もいる</li> </ul>	<p>検討事項</p>
ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>停電時でも電池があれば受信可能</li> <li>インターネットラジオであれば、スマホでも受信可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビに比べ聴取率は低く、地域全体に緊急の情報伝達を行うのはやや困難</li> <li>(コミュニティFMの場合はきめ細かな防災情報の伝達が可能)</li> </ul>		
防災行政無線	<ul style="list-style-type: none"> <li>自営網のため耐災害性が高い</li> <li>市町村が地域住民へ直接的に情報を伝えられる</li> <li>戸別受信機の場合は、端末を設置している世帯に確実に情報を伝達できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外拡声器から伝達する場合は、大雨でかき消されるなど、気象条件等によっては情報伝達が難しい</li> <li>戸別受信機の場合、都市部では人口が多く全世帯への配備は困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外拡声器からの内容が聞き取りにくかった場合に電話をかけることで放送内容を確認することができるサービスを導入している場合もある</li> </ul>	
緊急速報メール	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定エリア内の携帯電話利用者(居住者以外含む)に一斉配信できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字数に制限(本文200時(NTTドコモ500字))があり、情報伝達内容が限られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字数が限られるため、予め配信内容や文例等の準備が必要</li> </ul>	
登録制メール	<ul style="list-style-type: none"> <li>一斉配信により登録者へ直接情報を伝える事ができ確実性が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録が必要なため、地域全体に情報伝達を行うのは困難</li> </ul>		
HP	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細な情報を発信することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人によって情報環境が異なる、インターネットの操作が不慣れなど閲覧できない人もいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマホで受信可能</li> </ul>	
SNS	<ul style="list-style-type: none"> <li>即時の情報発信ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者間で情報が伝搬・拡散し、誤った情報が広がる事も考慮し正確な情報を発信し続ける必要がある</li> <li>人によって情報環境が異なる、インターネットの操作が不慣れなど閲覧できない人もいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとくちにSNSといってもLINE、FACEBOOK、TWITTERなど、さまざまな窓口があり、SNS相互を横断する連絡網があるわけではない。</li> </ul>	
広報車	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に巡回して直接伝達するため、現地状況に応じた避難の呼びかけができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺で浸水被害が発生している場合は対象地域を巡回できないことがある</li> <li>人員や車両に限られ、直ちに全ての対象地域を巡回できない</li> </ul>		
電話・FAX	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に直接情報を伝えるため確実性が高い</li> <li>FAXは番号を登録すれば、一斉送信により一定程度の対象者に直接情報を伝える事ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>停電に弱い</li> <li>電話は輻輳により繋がりにくい、番号がわかる相手にしか連絡が取れない、同時に複数の相手に連絡できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた人に連絡する仕組み</li> </ul>	
直接的な声かけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に直接情報を伝えるため確実性が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンパワー不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練や地域連携等を通じて、声かけしやすい地域作りが必要</li> </ul>	

避難情報等の種別 避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急))  
 気象警報(注意報、警報、特別警報、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報)  
 河川水位情報(氾濫注意水位、避難判断水位、氾濫危険水位)  
 ダムの防災操作(洪水調整、ただし書き操作)